凡例
時日時 場場所 集集合 人対象・定員 費費用 内内容 師講師 保一時保育 締締切日 申申込 問問合先 HPホームページ eEメール

男女共同参画推進センター
我が家の未来作戦会議
～夫婦のコミュニケーションで家族力アップ～
10/14(日)

日ごろ、夫婦で家事や子育てのことを話していますか。相手にうまく気持ちを伝えられずモヤモヤしていませんか。夫婦が本音で話せるシートを活用して、日常生活を振り返り、家族の今後について夫婦で作戦会議を行います。お互いが思い描く未来に一歩近づきましょう。

時 10月14日（日）午前10時～正午 場 男女共同参画推進センター3階第1・2研修室（扇橋3－22－2パルシティ江東内） 人 夫婦15組30人（申込順）※1人での参加も可 費 無料 師 三木智有（NPO法人tadaima！代表理事） 保 幼児（1歳6か月～就学前）10人程度（無料・申込時要予約）※1歳6か月未満のお子さんと同伴受講できます。申込時にお申し出ください。 申 9月15日（土）午前9時から男女共同参画推進センターに電話または窓口で※区ホームページからも申込できます。

☎（5683）0341
FAX（5683）0340

エコリーダー養成講座
つながりを生む水辺のデザイン学
～持続可能で面白い水辺のまちづくり～

地域で積極的に環境保全活動を進めていただく人材の育成を目的とした講座です。

江東区は、隅田川と荒川、東京湾に囲まれた水辺のまちです。今回は「水辺」をテーマに地域資源と水辺の魅力を融合させたコミュニティ活動の可能性を探ります。持続可能な水環境を未来につなぎながら、水辺を活用した活動を行うためのプロセスを学びます。

時 内 上表のとおり（全5回） 人 18歳以上の方30人（書類選考のうえ、区内在住・在勤・在学の方を優先し、抽選。当選者にのみ10月1日(月)ごろ通知） 費 1、000円程度（乗船代等） 締 9月26日（水）必着 申 任意の用紙に①エコリーダー養成講座②住所（区内在勤・在学の方は勤務先・学校名とその住所を併記）③氏名（フリガナ）④年齢⑤電話番号⑥メールアドレス⑦応募動機（200字程度）を記入し、〒135－0052潮見1－29－7えこっくる江東へ郵送またはファクスで※区ホームページからも申込できます。

☎（3644）7130
FAX（3644）7135

日時・場所	テーマ
10/13(土) 14:00～16:30 えこっくる江東	水辺のまちづくり、始まってます 師 滝澤恭平（(株)水辺総研、ミズベリング）、区河川公園課長
10/28(日) 10:00～12:30 えこっくる江東ほか	いきものみつけ～水辺とヒトが与え合う影響（モノ・コト）を考える～ 師 佐々木剛（東京海洋大学教授）
11/18(日) 13:00～16:30 古石場文化センター（古石場2-13-2）ほか	水都江戸から水都東京へ～川を中心としたまちの発展～※1時間半程度屋形船（座敷）に乗船します 師 久染健夫（中川船番所資料館）
12/1(土) 14:00～16:15（予定） 森下駅周辺	つながる場のデザイン～やりたいを実現する「マイパブリック（自家製公共）」のススメ～ 師 田中元子（(株)グランドレベル）、西直人（リードクライム(株)）
12/8(土) 10:00～16:00 えこっくる江東	何から始める？水辺のローカルプロジェクト、修了式 師 岩本唯史（(株)水辺総研、ミズベリング）、西直人（リードクライム(株)）

えこっくる江東
環境学習プログラム 10月
秋の自然を身近に感じてみよう！

時 内 下表のとおり 場 えこっくる江東（潮見1-29-7）ほか 申 9/15(土) 9:00からえこっくる江東に電話または窓口で☎3644-7130、FAX3644-7135 HP https://www.ekokkuru-koto.jp/

講座名	日程	内容	費用	持ち物	対象
親子で手回し発電機を作ろう	10/6(土) 13:30～15:30	親子で手回し発電機を作って、鉄道模型を動かしたり、白熱灯やLEDを点けてみよう。発電のしくみを学んで、節電について考えます。	1組700円	筆記用具、飲み物	小学3年～6年生15人（申込順、要保護者同伴※保護者1人につきこども2人まで参加可）
近郊の里山を訪ねる	10/8(月・祝) 8:30～16:00	里山を訪ねて、人と自然とのより良い関係について考えてみよう。里山の生きものたちとも出会えると思うよ 場 千葉印西の谷戸 集 西船橋駅JR武蔵野線ホーム（10番線）南船橋側端	無料（交通費は自己負担）	筆記用具、昼食、飲み物、帽子、雨具、虫よけスプレー※長そで・長ズボン、しっかりした靴着用で参加	小学生以上25人（申込順、小学生は保護者同伴※保護者1人につき、こども2人まで参加可）
佐々木洋のわくわく生きものたんけん隊（単発参加）	10/14(日) 9:30～12:00	自然案内人と一緒に親子で身近な自然を探検しながら、自然観察をします 師 佐々木洋（プロ・ナチュラリスト）	無料	筆記用具、飲み物、帽子、雨具、虫よけスプレー、虫ささされ薬※長ズボン・運動靴で参加	年長児～小学生と保護者15組30人（申込順）
水素社会を体験してみよう！	10/14(日) 13:30～15:30	水素情報館「東京スイソミル」に行って、水素社会をのぞいてみよう。その後、えこっくる江東でも次世代のクリーンエネルギーについて学習します。	無料	筆記用具、飲み物、帽子、歩きやすい靴で参加	小学3年～6年生15人（申込順、小学4年生以下は要保護者同伴※保護者1人につき、こども2人まで参加可）
砂町運河の水質を調べてみよう！	10/27(土) 10:00～12:00	区を流れる川の水を、目や耳、鼻、手を使って水質実験をしてみよう！水辺に住む生きもののお話もします。	無料	筆記用具、飲み物、帽子、手拭きタオル	小学生と保護者12人（申込順、小学3年生以下は要保護者同伴、幼児同伴可）
みどりのカーテン終了後の土の管理と冬の野菜づくり	10/27(土) 13:30～15:30	「みどりのカーテン」を終了した後に冬の野菜づくりをしたり、土づくりをして来春のカーテンの準備をしましょう 師 石井匡志（樹木医）、江東エコリーダーの会	無料	筆記用具	小学生以上どなたでも20人（先着順、小学生は保護者同伴）

※同伴保護者1人が引率できるお子さんの人数は講座によって異なります。
※特に記載のない講座は、対象者以外の方（幼児等）の入室（参加）はできません。
※詳細はお問い合わせいただくか、えこっくる江東ホームページをご覧ください。

秋から始まる新規講座
多彩な123講座
文化センター等8館で募集中

区内各文化センターと総合区民センターでは、秋から始まる講座の受講生を募集中です。詳細は新聞折込等でお届けしている「カルチャーナビKOTO9月号」（9月9日発行）でご案内しています。区内公共施設や駅でも入手できます。

締 9月24日（月・祝）必着 問 各文化センター等へ

施設名	電話	FAX
江東区文化センター（東陽4-11-3）	3644-8111	3646-8369
森下文化センター（森下3-12-17）	5600-8666	5600-8677
古石場文化センター（古石場2-13-2）	5620-0224	5620-0258
豊洲文化センター（豊洲2-2-18）	3536-5061	5560-0505
亀戸文化センター（亀戸2-19-1カメリアプラザ5階）	5626-2121	5626-2120
東大島文化センター（大島8-33-9）	3681-6331	3636-5825
砂町文化センター（北砂5-1-7）	3640-1751	5606-5930
総合区民センター（大島4-5-1）	3637-2261	3683-0507

一年生になったら
～「給食」～ 2

みんなと食べる給食はとってもおいしい。苦手なお肉や野菜も何とか食べられる。でも、どうしてもトマトが食べられない。小学校は全部食べないとだめなのでしょうか。

学校での生活のなかでも、給食は一人ひとりの違いがとてもよく表れる活動です。保護者はもちろん、幼稚園や保育園の先生方も、こどもの好き嫌いをなんとかしようと、いろいろと工夫しているかと思います。

そのなかで、こどもは自分の「やってみたい！」からさまざまなことにチャレンジして成長していきます。好き嫌いがあっても、そこには一人ひとりのこどもの育ちがあります。大人から見ればまだまだ未熟かもしれませんが、自分でやってみようとチャレンジしていく気持ちと姿に目を向けてほしいと思います。

みんな違っていい

こどもの好き嫌いは、命を守るための理に適った行動でもあります。自然界では本来的に、酸っぱさは腐ったものの味、苦さは毒に伴う味です。酸味のあるトマトや苦みのあるピーマンなど、こどもの苦手な味には理由があります。今は何でも食べられるようになった大人も、成長する過程でさまざまな味覚を楽しめるようになってきたのではないでしょうか。

また、腸内環境の状態も一人ひとり異なっています。肉を消化しやすい人や、困難な人、野菜を栄養として消化・吸収しやすい人など、食の好みには見えない理由があることも少なくないようです。

みんなと食べる給食がとってもおいしいことは、何より大切な心の栄養をとることにつながります。家族で食卓を囲む団らんや給食が苦痛の時間になってしまえば、食べようとする意欲も失ってしまうでしょう。栄養を取り込む消化器系も、そのようなストレス下では本来の働きができません。好きな大人や友達がおいしそうに食べていることで、「自分も食べてみようかな」という意欲が引き出されることもよくあることです。

こどもの時には、思わず食べたくなってしまう雰囲気づくりが大切です。

問 庶務課社会教育担当 ☎（3647）9676 FAX（5690）6911